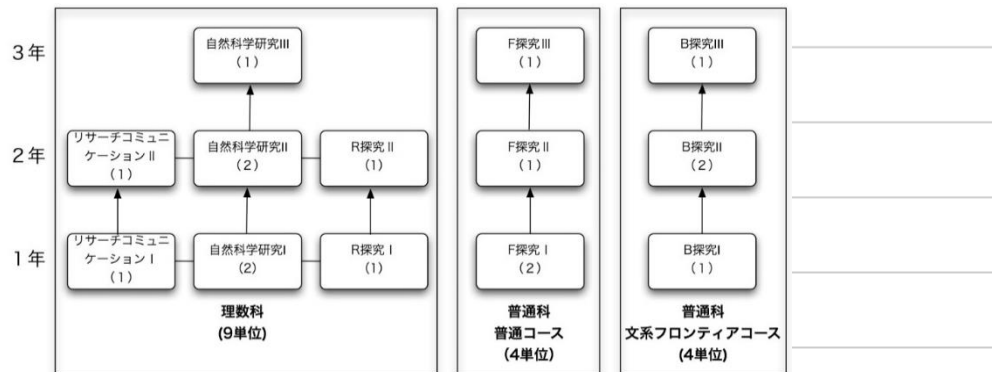


七高SSH通信

R1・5・29
石川県立七尾高等学校
SSH推進室 第3号

七尾高校ではSSH事業の一環として、次の様な授業があります。



授業は探究活動を中心としたもので、バラエティに富み、中には高度なものも含まれていますが、どの活動も七尾高校でしか体験できない貴重な内容となっています。

授業の一部を紹介したいと思います。

融合プロジェクト

5月11日(土)の公開授業の3・4限目に、本校第2体育館で、3年生が「探究」において、2年次の3学期より取り組んできた「融合プロジェクト」の発表会が行われました。

融合プロジェクトとは、文系フロンティアコース、普通コース文系、普通コース理系、理数科の生徒がクラス横断で一つのグループを組み、能登の課題についての解決策の提案を行うものです。生徒たちは、「農家の経営費用の負担軽減」「耕作放棄地によるさまざまな問題の発生」等のテーマについて、協働して取り組み、その成果を発表しました。

発表は、それぞれのグループが、1年生から行ってきた探究活動の集大成という感じで、しっかりと発表を行いました。



～生徒の感想～

〇どの班も、能登の現状を多面的にとらえ、解決のために今までにないような新しい発想にたどりついていたことに感動しました。大変なこともあったけれど、融合プロジェクトをしてよかったと思いました。

〇いろいろなクラスが集まることで、自分にはない発想があって面白かったです。

～生徒の感想～

〇1つのテーマを、シンプルかつ、多角度からの視点で見るといふことと、それを論にするといふのが、どれだけ難しいのか痛感しました。

〇説明の流れがとても分かりやすかった。成功例を挙げていてより説得力があった。

〇3年生はいろいろな経験をしているので、質問対応や語彙力が高いと思った。



探究 I (第1学年) 自然科学研究 I (第1学年理数科)

「文献調査」

探究 I と理数科の自然科学研究 I で「文献調査」を行いました。探究活動では、最初に何がわかっていることかを調べる必要があります。そのための技術が文献調査の方法です。知りたいことを知るための文献調査の手法を学び、文献調査の技術を身に付けることを目的に行いました。

本校図書館で百科事典を活用し、必要な事柄を調べ、自分の言葉を用いて相手に伝わりやすく、筋の通った文章を書くことをふまえて最後にレポートを作成しました。



自然科学研究 I (第1学年理数科)

「味覚への挑戦」(5月24日)

株式会社スギヨの製造本部の檜木正博次長を講師として、「味覚への挑戦」を行いました。スギヨは「カニかま」で有名な会社で、本社が七尾市にあります。檜木さんからは、「おいしさ」とは何か、味を感じるメカニズム、味の相互作用や相乗効果、スギヨの歴史やカニ風味カマボコ(カニかま)の開発のお話を聞きました。また、実際に味(甘味、酸味、塩味、苦味、うま味)を見分ける味覚検査、〇〇と△△を食べ合わせる味の組み合わせ実験を体験しました。生徒たちは、どんな味になるのか予想を立てて、楽しく味わっていました。味覚の不思議さや新商品を生み出すことの難しさの一端に触れ、新しい分野での興味関心を深めていました。

問題

① 麦茶 + 牛乳 + 砂糖 = ?

② 豆板醤 + マヨネーズ = ?



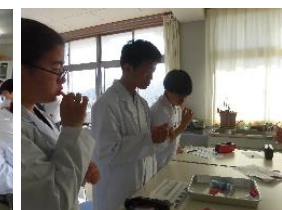
講義の様子



味覚検査



味の組み合わせ実験



試食